



落合 康之 議員



## 補助金について

**問** 近年マスコミ等で、補助金の不正利用が報道されている。古河市の補助金交付団体において適正使用されているのかお尋ねする。

①各種団体への補助金交付の基準等はあるのかお示しいただきたい。

②交付団体からの決算書、事業報告書、予算書、事業計画書等、内容の精査確認を行っているのか。

※P D C Aサイクル…Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Act（改善）の4段階をくり返して業務を継続的に改善する方法

③各種団体に対する補助金の使用基準をお示しいただきたい。  
④市は3月中に団体から次年度の補助金申請書類の提出をさせているところが見受けられるが、会計年度末を待たない書類提出はいかがなものだろうか。

**答（市長）** 各種団体への補助金は、地方自治法第232条の2の規定に基づき普通地方公共団体が公益上必要な場合に支出できる。その原資は市民の皆さまの税金であり、公益性、公平性を十分精査する必要があると考えている。担当課において、さらにPDCAサイクル<sup>(※)</sup>による見直し、検討を図っていききたい。

**答（企画政策部長）** ①補助金の交付基準は、古河市補助金等交付規則に基本的事項を定め、交

付要綱等で具体的な基準を定めている。②③補助を行う担当部署で規則、要綱に基づき各種団体からの必要書類等を精査し、手続きを行っている。④申請書類の提出時期は、古河市補助金等交付規則第4条で、当該年度の補助事業が開始される日の30日前までとしている。ただし当該補助事業が4月の場合はこの限りではないとしており、規則等に基づき受け付けている。



## 《その他の質問》

## ・給付金について



長浜 音一 議員



## 環境危機を乗り越えられるか！

**問** 第2次古河市環境基本計画の目的は今後10年間で達成されるのか。以下に問う。①第1次環境基本計画の評価・検討・分析結果は。②人材育成と人員の確保は。③市民・社会と行政との連携は。④推進上の最重要課題である環境問題に対する理解促進をどのような方法、手段で図っていくのか。

**答（市民部長）** ①ごみ排出量の

削減が見られた一方、温室効果ガスの排出量は増加している。市の実情に合ったCO<sub>2</sub>削減の取り組みを推進していきたい。  
②職員の意識向上に方策を置き、個人、職場、地域へ環境に対する共通認識を広めていく。③環境問題に対する市民意識の変容が重要であり、いろいろな施策を広報等で市民へ周知したい。  
④第2次古河市環境基本計画を基に啓発、推進していきたい。

## 人事（異動・昇任）の透明化は市役所活性化のカギ！

**問** 効率的・効果的な行政運営を目指し、市民サービスの向上を図るとして定期的な人事異動が慣例となっているが、以下に問う。①人事異動や昇任の決定プロセスとその透明化について。

②異動・昇任による業務の継続性と人材育成についての見解。

**答（市長）** ①②基本的には4月に人事異動を行うことにより、事業の継続性も担保されていると考える。また、透明性には、いろいろな見方があるが、基本的には十分確保されている。人材育成については、ある一定の知識や経験がその後の職員のキャリアになり、いろいろな形で市民サービスにつながると考えている。

